

2024年11月 6 日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

当組合は、将来目指す姿として以下の3点を経営理念として取組んでおります。

- ①農業づくり：農業の持続的発展と地域社会の共生を目指します。
- ②くらしづくり：事業を通じた豊かで暮らしやすい地域社会の創造に貢献します。
- ③J Aづくり：発展的投資と組合員還元が継続できる事業改善を展開します。

この理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

中野市農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	7 (前年度末：6)
株式型	5 (前年度末：5)	6 (前年度末：6)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	8 (前年度末：8)	

<商品選定の考え方>

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 当組合は、対話活動とお役立ち活動の実践を通じて、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- 住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者が増加したことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプの取扱を新たに開始しております。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。

I.取組状況

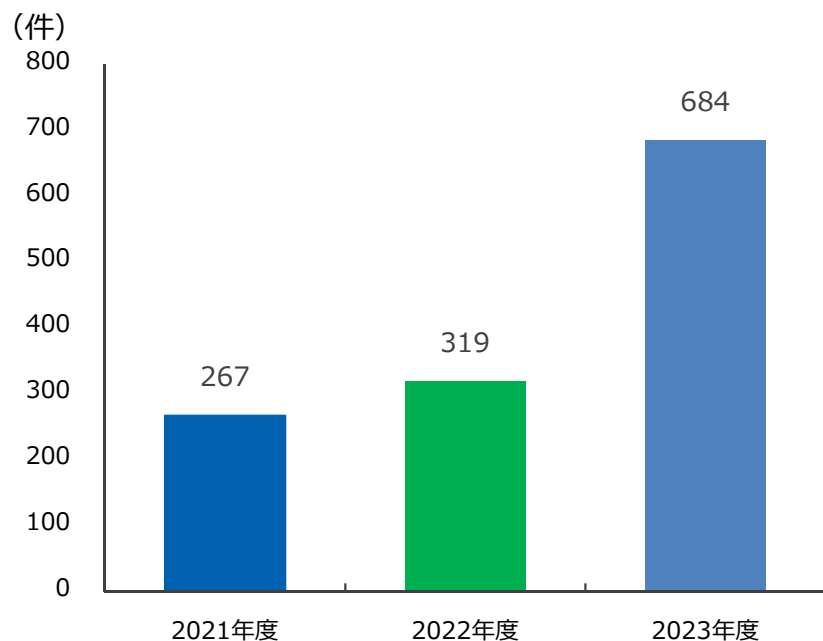
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1、2、4、5)】

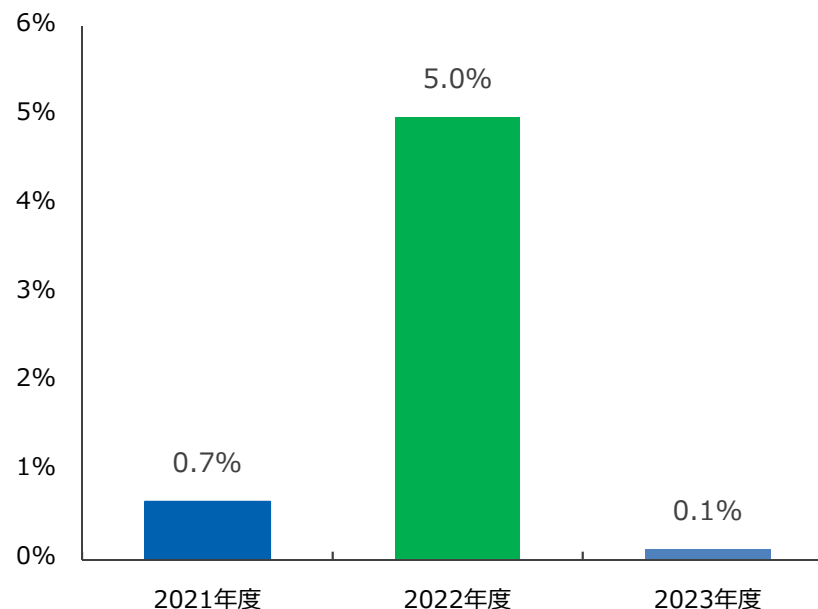
(1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率が低下いたしました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



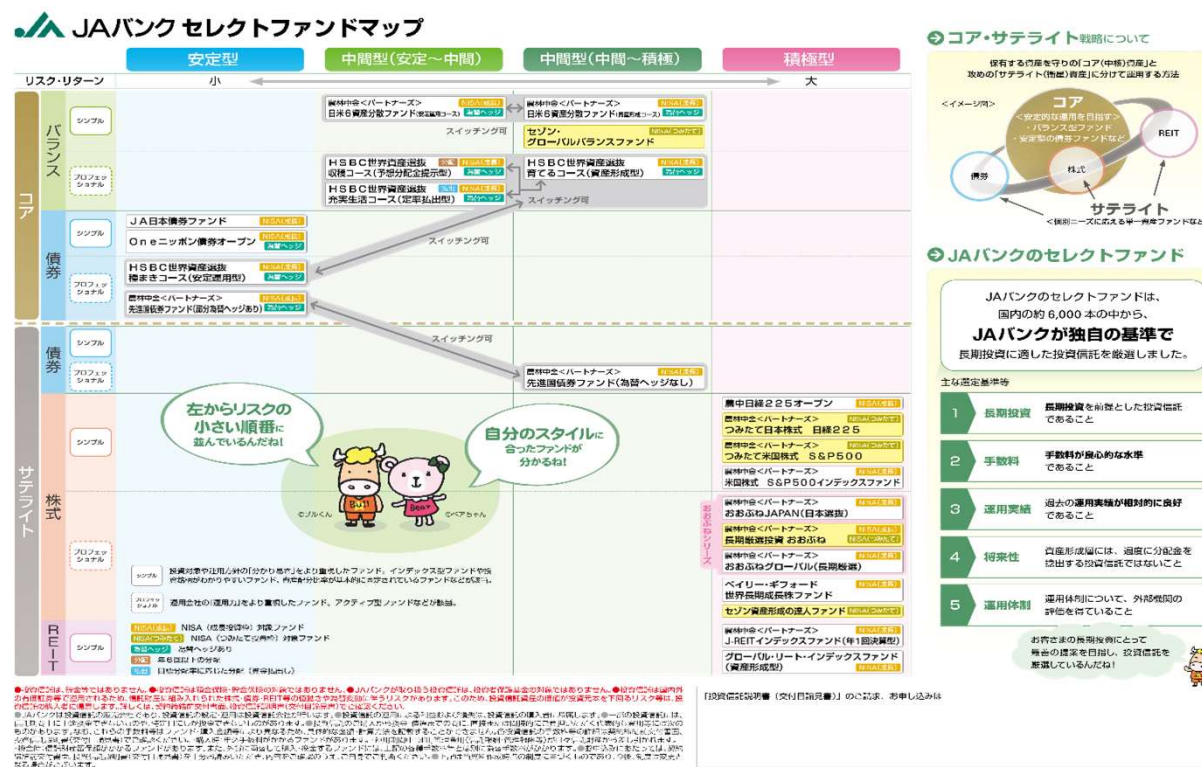
I. 取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

（１）信用の事業活動

- ・ 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ、J Aバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- ・ なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。



I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③（1/2）

（2）共済の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

① 共済仕組み・サービスのご提案

- 共済仕組み・サービスの提案にあたっては、加入目的、収入や家族構成等にてらして、各種公的保険制度をふまえた最適な提案を通じて組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。
- 組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を丁寧に把握・確認し、保障内容について正しくご理解いただけるよう、契約に関する重要事項を分かりやすく説明することにより、最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。
- ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすく説明しております。

② 契約締結時の対応

- ご契約に関する重要事項説明書を通じてご提案した共済仕組み・サービスが組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。

③ 高齢者対応

- ご高齢の組合員・利用者の方については、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時にはご家族の同席を徹底するなどによりきめ細やかな対応を行っております。

I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③（2/2）

（2）共済の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

④ 各種手続きとアフターフォローの実施

- 各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすくご説明しております。
- 令和5年度からは支払い請求手続きの簡素化を推し進めるなど、組合員・利用者の皆さまの利便性向上に向けて取り組んでおります。
- ご加入後も、近況確認、契約保全活動など組合員・利用者の皆さまに寄り添った取組みを実施しております。
- 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等をご負担いただいております。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）】

- 組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- 利益相反管理統括部署は、利益相反管理方針に沿って、利益相反のおそれのある取引の特定および利益相反管理を的確に実施するとともに、その有効性について定期的に検証を行っております。

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

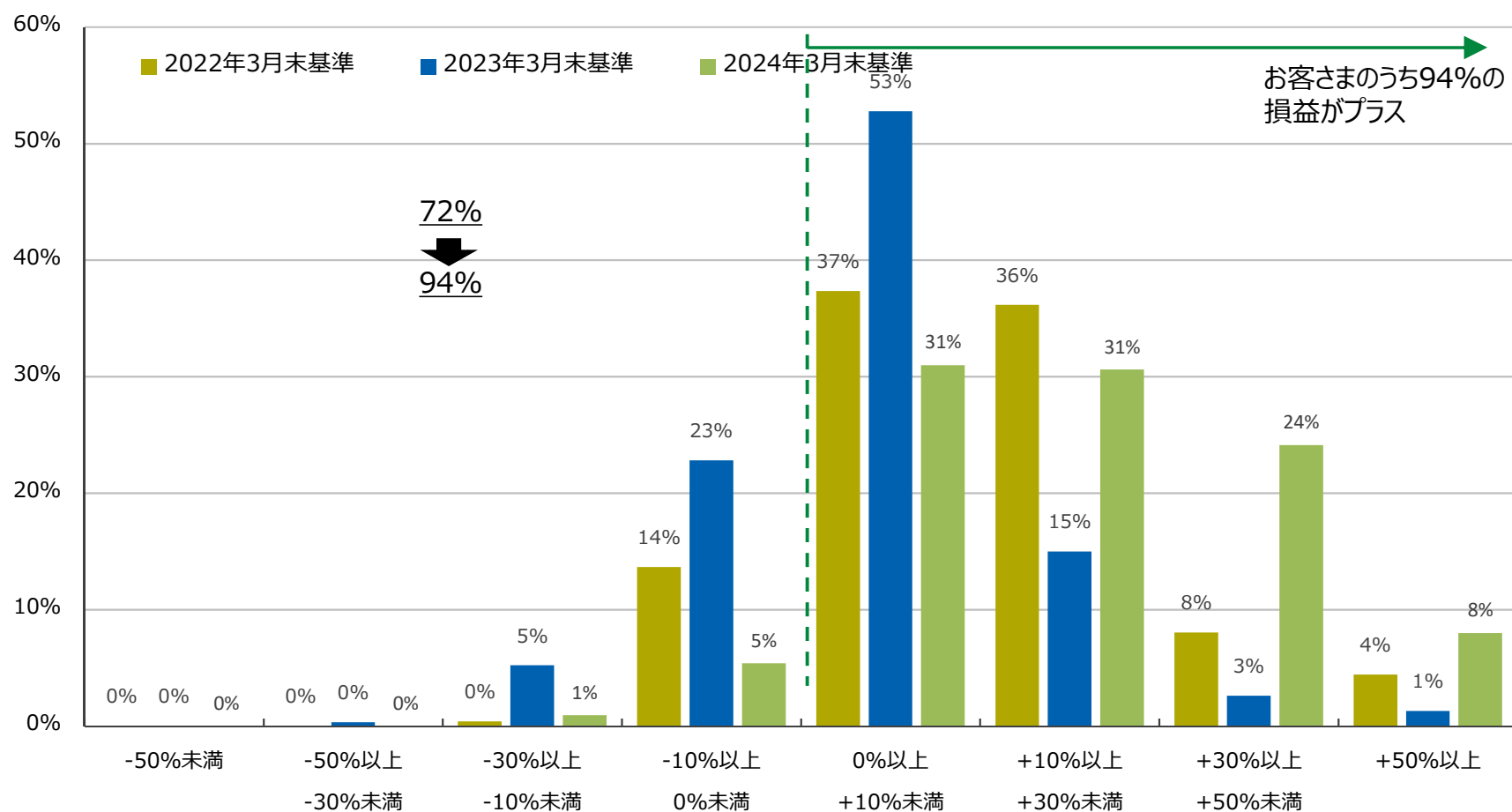
【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

- 当組合は、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成するため、各種研修による指導、資格取得の奨励を通じて、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

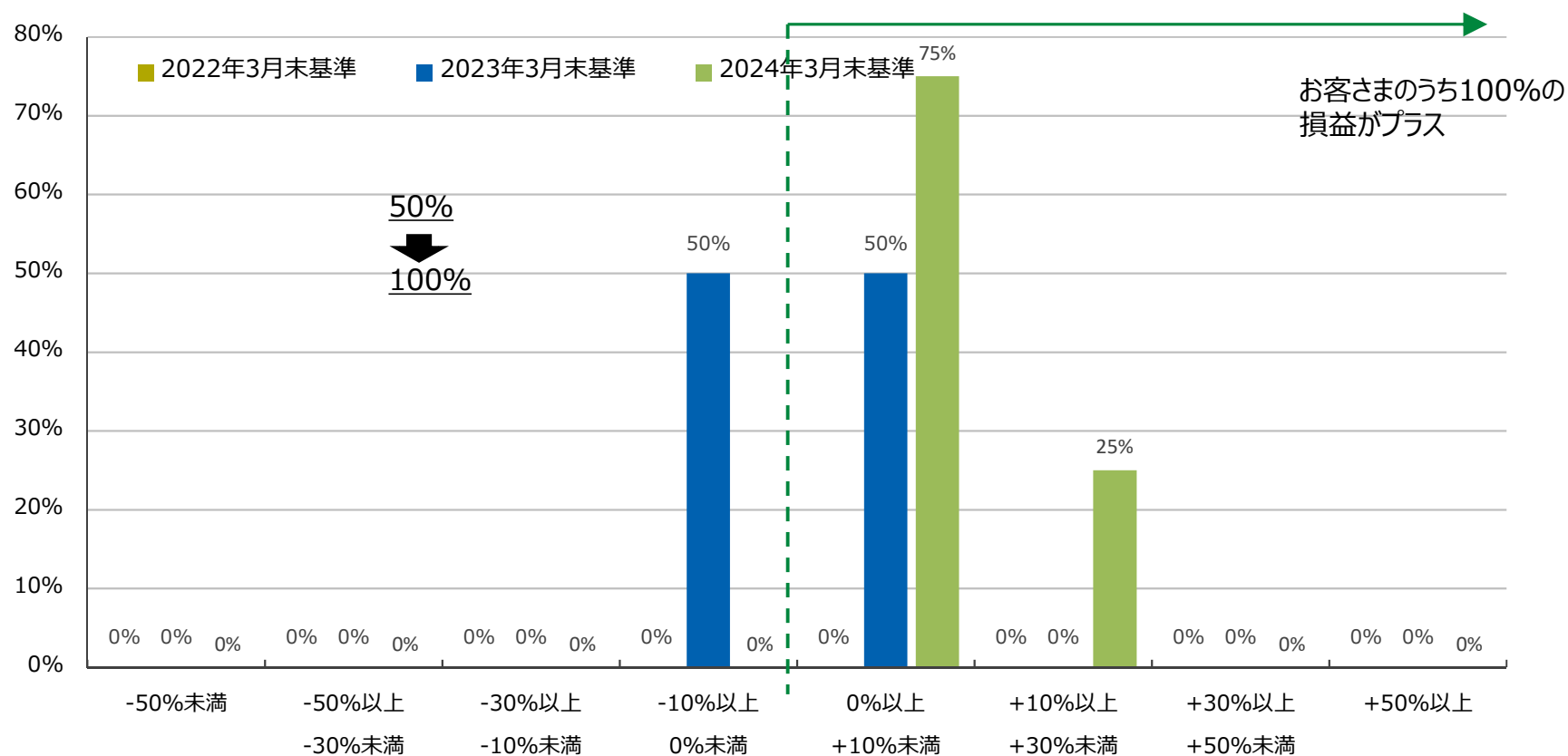
- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の94%のお客さまの損益がプラスとなりました。



Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率（ファンドラップ）

- 2022年4月より取扱いを開始しておりますJAバンク資産運用サービス（ファンドラップ）の「運用損益別顧客比率」は、2024年3月末時点で全体の100%の組合員・利用者の皆様の損益がプラスとなりました。
- 継続的なアフターフォローにより、組合員・利用者の皆様の目標達成に向けて丁寧な説明、必要なサポートを実施しております。



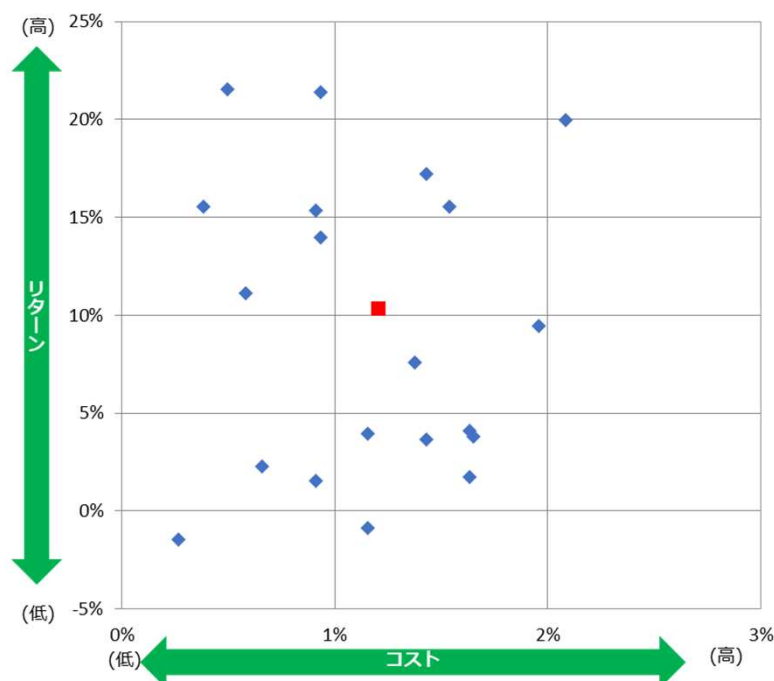
※2022年度取扱開始のため2022年3月末実績はございません

Ⅱ.比較可能な共通K P I

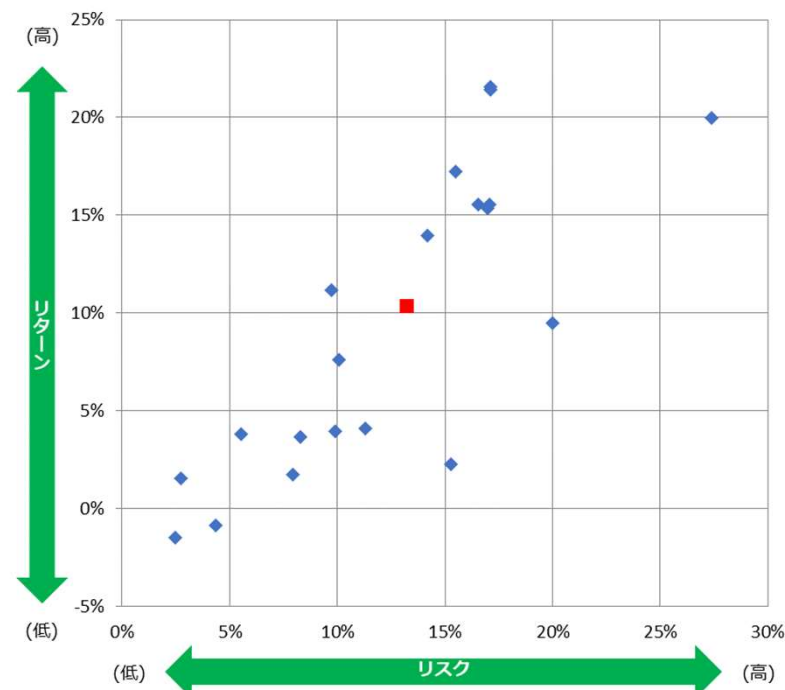
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2024年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.20%、平均リスク13.22%に対して、平均リターンは10.36%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞

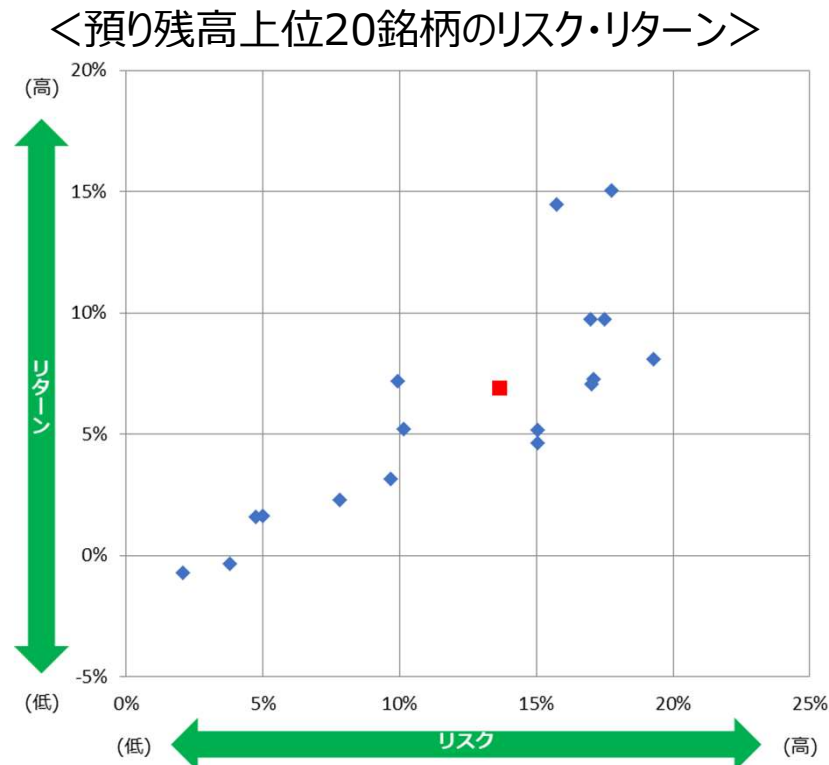
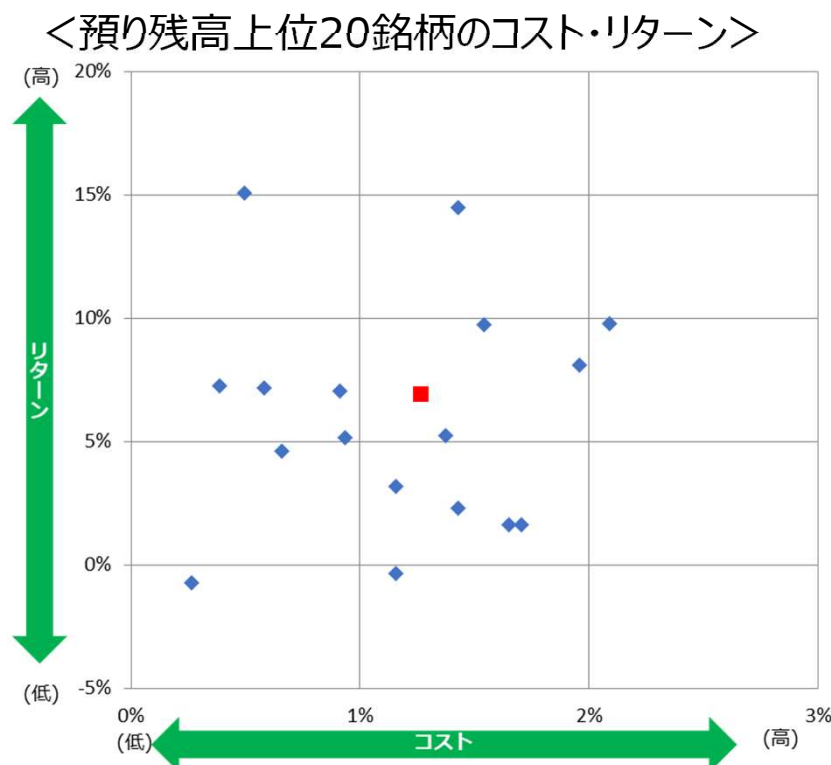


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2023年3月末）

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.26%、平均リスク13.67%に対して、平均リターンは6.91でした。

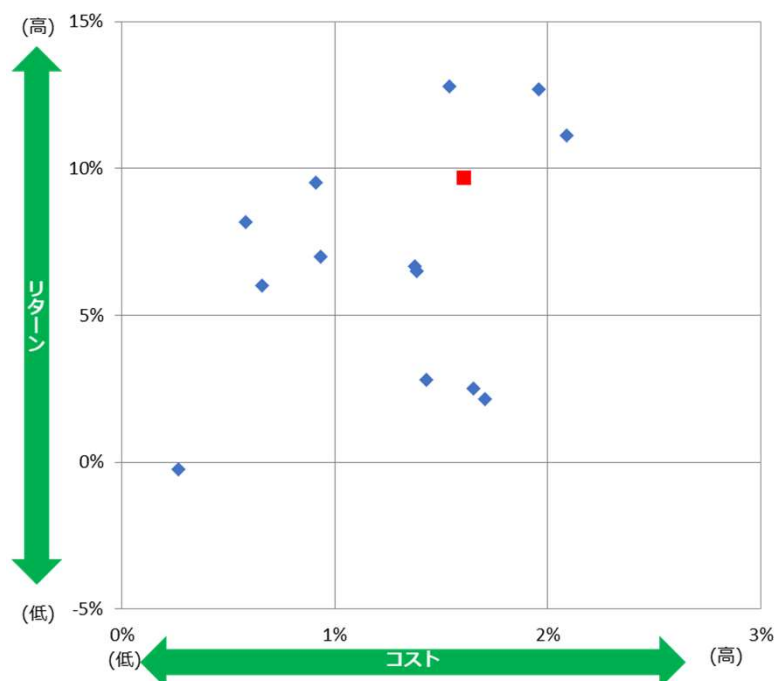


Ⅱ.比較可能な共通K P I

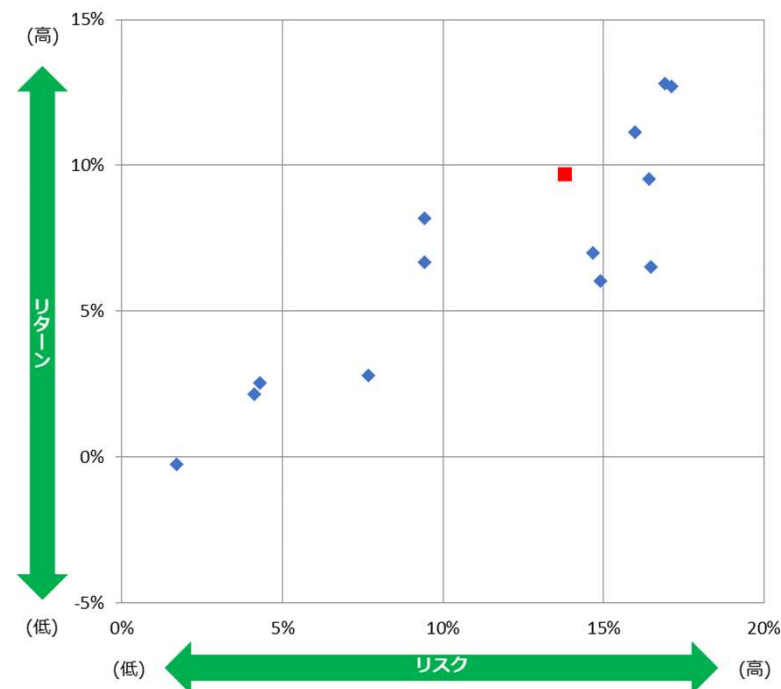
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.61%、平均リスク13.79%に対して、平均リターンは9.69%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント（株）	9.47%	20.01%	1.96%
2	つみたてNIISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.55%	17.11%	0.50%
3	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
4	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.40%	17.11%	0.94%
5	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	3.95%	9.89%	1.16%
6	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne（株）	1.52%	2.73%	0.91%
7	世界の財産3分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	7.59%	10.06%	1.38%
8	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	17.22%	15.52%	1.43%
9	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
10	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.86%	4.33%	1.16%
11	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-1.47%	2.46%	0.26%
12	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	11.15%	9.72%	0.58%
13	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	15.53%	16.54%	1.54%
14	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.34%	17.00%	0.91%
15	つみたてNIISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.57%	17.06%	0.39%
16	DIA Mハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne（株）	3.64%	8.31%	1.43%
17	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	19.98%	27.37%	2.08%
18	J - REITインデックス（毎月分配型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	2.28%	15.30%	0.66%
19	J A T O P I Xオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.95%	14.20%	0.94%
20	J A 海外債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	3.82%	5.52%	1.65%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		10.36%	13.22%	1.20%

※ 2024年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2023年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント（株）	8.09%	19.30%	1.96%
2	日米6資産分散ファンド（資産形成コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	3.16%	9.68%	1.16%
3	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.05%	17.74%	0.50%
4	世界の財産3分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	5.23%	10.14%	1.38%
5	日米6資産分散ファンド（安定運用コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.34%	3.81%	1.16%
6	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.48%	15.74%	1.43%
7	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.05%	17.04%	0.91%
8	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne（株）	2.31%	7.81%	1.43%
9	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	7.18%	9.92%	0.58%
10	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.72%	2.06%	0.26%
11	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	9.73%	17.50%	1.54%
12	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.26%	17.10%	0.39%
13	J-REITインデックス（毎月分配型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.62%	15.04%	0.66%
14	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	5.17%	15.06%	0.94%
15	JA海外債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	1.64%	5.00%	1.65%
16	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信（株）	1.60%	4.75%	1.71%
17	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	9.76%	16.99%	2.09%
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		6.91%	13.67%	1.26%

※ 2023年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は17本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
2	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	6.67%	9.44%	1.38%
3	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.80%	7.69%	1.43%
4	JA日本債券ファンド	農林中金全連アセットマネジメント(株)	-0.26%	1.70%	0.26%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
7	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全連アセットマネジメント(株)	6.02%	14.90%	0.66%
8	農中日経225オープン	農林中金全連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
9	JA TOPIXオープン	農林中金全連アセットマネジメント(株)	7.00%	14.67%	0.94%
10	NZAM日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全連アセットマネジメント(株)	6.52%	16.48%	1.39%
11	JA海外債券ファンド	農林中金全連アセットマネジメント(株)	2.52%	4.31%	1.65%
12	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信(株)	2.16%	4.12%	1.71%
13	JA海外株式ファンド	農林中金全連アセットマネジメント(株)	11.13%	15.98%	2.09%
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		9.69%	13.79%	1.61%

※ 2022年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は13本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。